

頁,行, 問題, 番号	誤	正
9 頁,上 2 行目	法第 3 条 (目的) において, …	法第 3 条 (排水基準) において, …
57 頁,下 17 行目	高速液体クロマトグラフィー法	高速液体クロマトグラフ法
37 頁,上 8 行目	表「検出器別キャリアーガス、付加ガス、燃料ガスおよび助燃ガスの例」	下記の表に差し替え

検出器別キャリアーガス、付加ガス、燃料ガス及び助燃ガスの例 (JIS K 0114:2012 より)

検出器の種類	キャリアーガス	付加ガス	燃料ガス	助燃ガス
熱伝導度検出器	ヘリウム, 窒素, アルゴン, 水素	ヘリウム, 窒素, アルゴン, 水素	—	—
水素炎イオン化検出器	ヘリウム, 窒素, 水素	ヘリウム, 窒素, 水素	水素	空気 a), 酸素 b)
電子捕獲検出器 (放射線方式)	ヘリウム, 窒素, 水素	窒素	—	—
電子捕獲検出器 (非放射線方式)	ヘリウム, 窒素, 水素	キセノン, 二酸化炭素, ヘリウム	—	—
炎光光度検出器	ヘリウム, 窒素, 水素	ヘリウム, 窒素, 水素	水素	空気 a), 酸素
熱イオン化検出器	ヘリウム, 窒素, 水素	ヘリウム	水素	空気 a), 酸素
質量分析計 c)	ヘリウム, 窒素, 水素	—	—	—

注 a) 乾燥したものを用いる。

b) 酸素を使用するとイオン化効率が上昇し感度の向上が見込めるが、燃料ガスとして使用する水素との混合比率が一定範囲内にあると爆発するおそれがあるため、適正範囲に設定する。

c) 化学イオン化法では、試薬ガスとしてメタン、イソブタン、アンモニアなどを用いる。